

村上市議会議員に対する  
議員定数及び議員報酬に関する  
アンケート調査集計結果

平成29年10月

村上市議会

村上市議会議会改革調査研究特別委員会

## 第1 アンケート調査の概要

### 1 目的

村上市議会議会改革調査研究特別委員会の検討資料とするため、議会改革調査研究特別委員会の求めに応じ、議員定数及び議員報酬についての検討の議論を深めるため、議員定数及び議員報酬に関する議員の考え方について調査する。

### 2 調査期間

平成29年9月29日(金) から 10月10日(火) まで

### 3 対象議員

村上市議会議員全員(26人)

### 4 収集情報の取扱い

アンケート調査は実名により実施し、個別の調査票は公開するものとした。

### 5 取りまとめ

回答が自由記載であるものについては、出来るだけ原文のまま標記した。

### 6 アンケート調査様式

次のとおり



## 2 議員報酬について

(1) 議員報酬以外の収入はありますか。

ある。

ない。

(2) 現在の議員報酬額をどのように考えますか。

適当である。

多い。

少ない。

その他( )

(3) (2)で 又は を選んだ方にお尋ねします。

望ましい議員報酬の月額はいくらですか。

( ) 円

(4) (3)で回答した方にお尋ねします。

その議員報酬額が望ましいと考えた理由をお答えください。

( )

(5) 議員報酬のあり方を考えるときに、重視しなければならないことは何だと考えますか。

( )

3 その他、議員定数及び議員報酬に関して意見があればお聞かせください。



村上市議会議員 \_\_\_\_\_

提出期限：10月10日（火）まで、議会事務局に提出ください。

## 【項目別集計】

### 1 議員定数について

(1) 現在の議員定数(26人)をどのように考えますか。

(回答)

	回答人数
適当である	6人
多い	18人
少ない	1人
その他	1人
合計	26人

その他の回答(=1人)

- ・基準などがあるわけではないので、どちらともいえない。

(2) (1)で 又は を選んだ方(=19人)にお尋ねします。

現時点で、望ましい議員定数は何人ですか。

(回答)

	回答人数
20人	1人
21人	2人
22人	10人
23人	1人
24人	2人
25人	2人
36人	1人
合計	19人

(3) (2)で回答した方にお尋ねします。

その人数が望ましいと考えた理由をお答えください。

(回答)

20人と回答(=1人)

- ・人口5万人~10万人の自治体(市)での議員定数は、人口3,000人~3,500人に対して議員1人、また人口3万人~5万人未満では人口2,000人~2,500人に議員1人が望ましい

と考えております。本市の人口は 62,000 人ですので 20 人が望ましい議員定数であると考えました。また、全国 814 市の市議会議員定数で人口 5～10 万人未満が約 21 人であることも参考にしております。

21 人と回答 (= 2 人)

・県内他市の議員定数の状況からも定数減は避けられないと考えます。定数を 21 人とした理由は、3 常任委員会の運営上、1 常任委員会の構成人数について 7 人を目安と、また、議員の活動状況から、おおよそ各地区の議員数を 1 人減と想定した場合でも市政への影響は少ないと判断したことによるものです。

・人口も年々減っているため。

22 人と回答 (= 10 人)

・現在の人口からみると法定数では 30 名となっているが、本市においても少子高齢化により人口減少が進む中、議会としても議員削減が望ましいと考える。他市などの議員数データからも参考に 22 名が望ましいのではないかと判断いたしました。

・村上市の人口も減少していることから、議員の減少も必要

「人口段階別にみた市議会議員の実数の状況」資料より本市の人口と比較すると 22 人妥当

・市の人口減少が進む中、同規模他市と同じ規模にすべき。

・村上市の減少する人口に対して人数が多いと思う。

・全国で人口段階別にみた市議会議員の実数の状況では 5 万～10 万未満の市では、平均 20.9 人である。当市は人口の割に面積が広いが 22 人が最も望ましい人数である。

・他市と比較してみて、人口や面積等を考え、また支所の数等も考えてみて。

・人口減少の為。

・県内の状況と本市の規模を考えて。

・全国、県の状況から見て削減すべきは自然な考えであり、人口からみてもこの程度の数とすべき。

・人口減少が進む中議員定数も考えなければならないと考える。議会の機能からして、最低の議員定数の確保は必要。

23 人と回答 (= 1 人)

・人口が減少している中、我々議員も考えたほうが良い。しかし、最低の定数は確保したい。

24 人と回答 (= 2 人)

・全国 814 市の市議会議員の実数の一市あたり平均 (人) 23.7 人である。人口段階別にみた市議会議員の定数 5～10 万人未満の全国平均 21.3 人である。これらの全国

平均からみてもまた、村上市の面積は他市からみて広大である。この割合、全国値から考慮しても24人が望ましい。

・平成20年4月に合併して広大な面積なので、24人の議員定数が望ましいと思います。

25人と回答(=2人)

・村上市の人口、市有面積と全国人口段階別平均値を加味した。 ・人口2500人あたりに1人で25人。 ・市有面積40Km<sup>2</sup>あたりに1人で29人。(他市は15~20Km<sup>2</sup>で1人) ・人口5~10万人未満全国市平均は21人。

・本市は面積が広く人口が少ない。地域に暮らす人々の考えや要望等が行政に反映しづらい。大きく議員定数を減らすべきでない。

36人と回答(=1人)

・広範囲な地域のため小学校区に少なくとも2人は必要と考えます

#### **(4) 議員定数のあり方を考えるときに、重視しなければならないことは何だと考えますか。**

(回答)

・合併時に議員定数は大幅に削減された訳ですが、削減する目的のひとつとして、従来の地区の代表のような議員活動ではなく、市全体を広い視点から捉え、しっかりと政策をもち提言することで、討議がなされる議会の在り方と充実を図り、個々の議員活動の質を向上させることが重要と考えます。

・村上市は県内の市町村の中で一番面積が広い。市民に各地域の課題、市政への関心や理解を高めていくことが大切。そのためにも適切な定数で。

・市民の人口の推移 全国の人口と市議会議員数の状況

・多様な民意を可能な限り忠実に反映できる制度として現在の定数は維持されるべきと思う。広範な市域を有する当市は、生活様式も受け継いだ文化もさまざまである。この現実がある中、この意見を汲み上げるには現状が選択し得る唯一のものであると確信する。

・担当地域の様子がわが事として見えるかどうか。市民から意見を聞くことができるか。

・市政の課題や市民の多様な意見を的確に把握し、政策提言等により十分に市政に反映することができること、市政運営の監視や評価を十分におこなうことができる議員定数でなければならないと考えます。

・出身地域の課題だけではなく、将来的な村上市全域のビジョンを鳥の目を通して政策を提言できる能力を有する議員を選出する事。

・どこでも問われる数でなく質の問題。

・少ない人数でもやり方、方法を考えれば十分にやっていける。

・都会と地方では違うと思います。地域に根付いていない都会の定数と地域に密着した地方では少ない多いを決めるのは違いがあり過ぎる。

・村上市の人口、地域面積、地域数など、市民の代弁者として、各地区の均衡が取れた議員分布が重要であるとの考えから、現段階では現在の定数が均衡を保つ定数と思える

・人口規模および市の面積。人口だけで判断すると、広大な面積を持つ市町村は目が行き届かなくなる。

・議員定数を削減したことにより、市民の声が村上市に届きにくくなったのでは本末転倒であります。それには議会の積極的な情報公開で市民との距離感を縮める努力も必要です。また常任委員会の構成（現行3を2にする）なども含め、議員一人当たりの仕事量も増やすことも必要であります。

・市民の多様な声が反映されること。

・村上市は人口の割に面積が広いので、定数をあまり多く減らすと市全体で隔々の声が届きにくくなり、一人一人の平等な社会の構築が出来なくなる恐れがあるので、それは避けなければならない。

・この広い市をくわしく把握するためにはある程度の人数は必要。

・常任委員会の人数を重視しなければと思います。人口だけでなく、面積や支所の数等も重視するべきと考えます。

・議員1人に対しての市民の人口。

・市民の声を届けるために、現在の定数が地域性などを考慮した場合妥当に思える。今後、ますます少子高齢化が進み、地域の声が届かなくなることが懸念される。そのことから、むやみに議員定数を減らすのではなく、地域と寄り添うには議員として何をすべきなのか、本質を見極める必要があるのではないかと。

・基本は人口であるが面積を考える必要がある。

・・議会の役割を果たすために必要な人員数。・人口あたりの妥当人員数。・当該市が有する市有面積及び町内・集落数。上記3点を考慮した中で導き出す

・市民の生活を把握してまちづくりに生かせること。

・いろいろな特色ある異なる市町村が合併して村上市になった。合併10年を迎えようとしている。市町村の垣根がとれて融合した1枚のきれいな絵になっているとは思っていない。大きな議員定数の削減はその後が良い。

・市民の考え方を反映する。定数ありきでなく、広い圏域であっても市民意見を聞き取る工夫をすべき。

・本市の広大な面積もさることではあるが、議員の定数は第一に人口規模と考える。

## 2 議員報酬について

### (1) 議員報酬以外の収入はありますか。

	回答人数
ある	24人
ない	2人
合計	26人

### (2) 現在の議員報酬額をどのように考えますか。

	回答人数
適当である	7人
多い	
少ない	18人
その他	1人
合計	26人

その他の回答 (= 1人)・議員だけが多いのでは市民の納得を得られない。時間給で計算すればどのくらいになるか。議会の会議だけではないので議員として活動している時間が多いと思うが計算してみるのもいいのではないか。

### (3) (2)で 又は を選んだ方 (= 18人)にお尋ねします。

望ましい議員報酬の月額はいくらですか。

(回答)

議員報酬月額	回答人数
30万円	2人
32万円	3人
32万2千6百円	1人
33万円	1人
34万円	2人
35万円	4人
37万3千円	1人
39万円	1人
39万5千5百円	1人
40万円	2人
合計	18人

参考

議員報酬月額

議長 359,000円

副議長 295,000円

議員 273,000円

(4) (3)で回答した方にお尋ねします。

その議員報酬額（月額）が望ましいと考えた理由をお答えください。

（回答）

30万円と回答（＝2人）

- ・若い人が報酬で生活できて、議員に専念できるように。
- ・本市は合併当初から報酬の値上げはなく、他市と比較すると報酬額が若干低い。議員の報酬額が高いと思うかもしれませんが、年間あらゆる場に出席すると、懇談会等の会費の合計額が相当額になります。議員活動費からは支払いできないので若干値上げした方が良くと思います。

32万円と回答（＝3人）

- ・今現在は報酬以外の収入がある中での議員活動を行っているが、議員報酬だけで出来るくらいの額でもっと若い世代にも意欲がわくようにしたい。
- ・議員として日常の議員活動に必要な金額であると思う。
- ・議員活動のできる報酬が必要。

32万2千6百円と回答（＝1人）

- ・4名の議員削減により、削減となった報酬予算額を現在の報酬に増額しても、これまでの報酬予算の全額は変わらないようにする。

33万円と回答（＝1人）

- ・全国814市の市議会議員の平均報酬月額全国平均は42.1万円である。人口段階別にみた市議会議員の平均報酬人口5～10万人未満平均は39.02万円である。全国値からみても差があり過ぎる。

34万円と回答（＝2人）

- ・今後、市議会議員を目指す若くて能力ある人が他の仕事と兼務しなくても、議員としてふさわしい生活を維持できる最低限の金額だからです。当市と同規模の市では村上市議会が一番低く、他市議会と比較するとその差をいつも感じるのです。
- ・今の給料では少ないと思う。もう少し広い範囲に活動が出来るくらいの金額がほしい。

35万円と回答（＝4人）

- ・全国他市や近隣市のデータを本市議会議員報酬と照らし合わせても低い数字となっており、増額が望ましいと考える。充実した議員活動をさせていただいてはおりますが、調査研究費において年間ではかなりの支出があるのも事実であり、理由のひとつでもあります。
- ・若い人材が専業でも生計がたてられる金額にするべき。回答した金額は最低ラインと考える。
- ・若者が立候補できるよう。

・議員として、市民の代表として活動できることが必要。議員年金もなくなり、働ける会社が制限され、議員になれば年金の保障もなくなる。

37万3千と回答(=1人)

・議員の仕事に力を入れるため。

39万円と回答(=1人)

・30代~50代の子育て世代が、少なくとも4年間は議員、議会の仕事を中心に生活できるように考える必要があります。

39万5千5百円と回答(=1人)

・市議会議員の構成は可能な限り多様であるべきと思う。しかしながら、若い世代がチャレンジできる待遇であるかと考えた場合、必ずしも魅力的なものとはなっていない。村上市を活力ある市にするためには、村上市の将来の姿を思い描きそれに挑戦する様々な勢力が必要であると思う。

40万円と回答(=2人)

・今の報酬では、生活給にならない。だから若い人が議員になりにくい。他の収入がなければ生活できない。だから議員の仕事も片手間になると思う。議員の仕事に打ち込みたいので。

・全国市議会の人口5万人~10万人未満の平均報酬額が約39万円となっているのでその例に当てはめました。私は現在、議員報酬以外からも収入がありますので、議員活動を行いながら生活費の維持もできますが、議員報酬だけであるならば、資金面によって議員活動が制限されることとなります。

(5) 議員報酬のあり方を考えるときに、重視しなければならないことは何だと考えますか。

(回答)

・議員活動に専念できるべく、議員報酬だけでも生活ができるようになればと考えます。

私には現在も議員報酬と会社役員報酬がありますが、政務活動に充てる金額も多く、家族6人を養うには現実的に無理が出てきており、今後を考えると若い世代の議員の成り手がいなくなると懸念しています。

・議員としての質、向上心を高めなければならない。市民の意見を吸収し、市政に確実に反映させていきたい。

・報酬によりある程度の生計が成り立ち、議員活動に専念して頂くため。

「人口段階別にみた市議会議員の平均報酬月額」資料から現在の月額は低いのでアップを考えても良い。

・様々な立場の市民が、多様な意見を市民の代表として表明できる環境と条件を提供する事。

・地域の賃金がどのくらいにあるのか。村上是決して高い方ではない。最低賃金をクリアしていても処遇面で良くない。厚生年金の掛け金額が少ない。

(例)基本給と能率給に分けられての給料になり年金の計算をすると基本給で計算なので思った金額にはならない。有給休暇も飾りだけの職場もある。など

・議員定数のあり方のところで挙げた点について、そのための議員活動が十分に可能な報酬額であることが理想ですが、以前の政務調査費の件もありますので、多くの市民から理解が得られるものでなければならないと考えます。

・議員は交際費が多い事と、四年に一度の選挙費用が必要となるため、その費用も勘案しなければならない。

・報酬は仕事に対する対価だけではない。

・市議会議員を職業ととらえ議員活動をするために。

・基準がないのでわかりませんが、一般会計予算に対 %とかいう基準があると良いと思う。

・議員定数中の議員年齢には、20代・30代・40代・50代・60代・70代とそれぞれの年代の議員が複数名ずつ配分されていることが望ましいと考えますが、20代から50代に結婚し、家庭を築き、子供を産み育てるには、現在の議員報酬だけで行う事はとうてい不可能であることはご理解いただけたらと思いますが、そのためには、夫婦共稼ぎも必要であり、また、議員活動もして行ける仕事に就いていることも重要な要件となりますが、議員として活動をしたいと考えたときに、結婚・子育てなど、大きな経済負担なくできる報酬体系であることが必須と考えますが、今後の課題としてとらえています。

・本来であれば、サラリーマン等の人でも、現在の仕事をやめても議員に立候補できるよう

に、専業でできる報酬を考えるべきである。

平成28年12月31日現在、5万人未満の市(269市)の平均報酬月額が33万3000円で、5万~10万人未満の市(258市)の最低報酬月額は26万6000円である。

・議員報酬は議員活動費のメインでなければいけません。よって議員報酬が個人の生活費を支える為に、その多くが使われているようでは困ります。

・市民の声。

・議員定数とのバランスを考えなければならない。定数は定数で、報酬は報酬でと別々に考えることには反対です。議員として日頃の活動もあるので市民として、最低限の生活報酬よりも若干高めに設定しなければならない。

・市民の皆様は信用を得られる活動をし、それなりの報酬にしてもらいたい。

・議員が生活し、議員活動が思うようにできること。

地域の企業等で働く市民の給料等も考慮しなければならないと思います。

・私が議員を志したとき、議員報酬がいくらか考えてもみなかった。なぜならば、市への思いが先にあったからである。そのことを考えた場合、議員として市政に携われる幸せを報酬面で考えるのは違和感を感じている。確かに若い議員が育ちにくい理由があるが、議員が議員報酬のあり方を考えるのには抵抗がある。

・村上岩船圏域の民間の給料の(40歳)水準と比較して考える。

・副業を持たず、議員、議会の仕事を専業として行うための最低限の生活と議員として活動するための経費を考慮するべきと考えます。

・市民の皆様にも理解していただく仕組みが必要です。

・議員報酬を市民がどのように考えているか。金額を提示し、理解が得られること。

・若い人が議員に立候補できるような環境をつくっていかなければ二元代表制がなくなる可能性があるのではないか。

・市民の方々から信頼の得れる活動、理解の得れる報酬。